

ヒューマニクス学位プログラムのアドミッション・ポリシー

平成31年1月22日
ヒューマニクス学位プログラム
運営委員会決定

1 趣旨

このアドミッション・ポリシーは、筑波大学大学院の分野を横断する学位プログラムの入学者選抜に係る基本方針（平成24年副学長決定）第2条に基づき、ヒューマニクス学位プログラム（以下「学位プログラム」という。）における教育目標及び求める人材像を明確にするとともに、入学者の選抜方針等を定めるものとする。

2 教育目標

学位プログラムは、生命医科学と理・工・情報学の両研究分野において、博士レベルの知識・技能と、これらを有機的に融合できる科学的専門力を持ち、これを社会に還元することで、生命と健康上の課題を克服して人類の持続的な発展に貢献できる応用力を備えたリーダー人材を育成することを目指す。

3 求める人材像

学位プログラムは、ヒューマニクス領域でパラダイムシフトとなりうる課題の発見・解決を通して、人類の未来に貢献するという強い意志を持ち、以下のいずれかにあてはまる人材を求める。

- ・生命医科学分野の基礎的な知識・技能を有し、さらに理・工・情報学のいずれかの分野との学際的な研究に高い関心を持つ人材。
- ・理・工・情報学のいずれかの分野で基礎的な知識・技能を備え、さらに生命医科学分野との学際的な研究に高い関心を持つ人材。

4 入学者選抜の実施方法

入学者選抜において、生命医科学と理・工・情報学分野における専門性と学際性、先進的な創造性、国際性、そして専門外の研究者への説明能力を求めるため入学要件、選抜方式又は選抜基準を設定する。

具体的には、生命医科学と理・工・情報学分野の専門知識を問う口述試験を実施し、加えて、生命医科学と理・工・情報学分野を融合した研究提案を英語で記載した研究計画書の提出を求め、その内容を複数の異なる専門分野の教員が参加する口述試験によって評価する。

5 入学者選抜の実施体制

入学者選抜の円滑で適正な実施を図るため、学位プログラムに入試委員会を組織し、口述・採点・選考の委員を明確にする等、入学試験の実施体制を整える。入試委員会は、グローバル教育院事務室の協力の下、入学試験を実施し、実施結果により合格候補者判定資料を作成する。学位プログラム教育会議は、合格候補者判定資料に基づいて合格候補者を選抜し、グローバル教育院会議を経て学長が決定する。

6 入試ミスの防止

公正な入学者選抜を実施するため、学位プログラムは、入試ミス防止マニュアルを策定するとともに、入念なチェック体制及び点検作業を行うものとする。